

事務連絡
平成25年3月15日

各国公立大学学生部長(担当職)
各公立短期大学事務部長(担当職)
各国公立高等専門学校事務部長(担当職)
各都道府県専修学校主管課長(担当職)
各都道府県教育委員会専修学校主管課長(担当職) 殿
各都道府県私立高等学校等主管課長(担当職)
各都道府県教育委員会高等学校等主管課長(担当職)
各指定都市教育委員会高等学校等主管課長(担当職)
厚生労働省医政局国立病院課長(担当職)
厚生労働省社会・援護局障害保険福祉部企画課長(担当職)

文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課長
文部科学省初等中等教育局児童生徒課長
文部科学省高等教育局学生・留学生課長

就職の内定を得ずに学校を卒業する者等への支援について

このたび、文部科学省と厚生労働省が共同で実施した調査の結果によれば、今春卒業予定の大学生の就職内定率(平成25年2月1日現在)は、対前年比1.2ポイント増の81.7%、短期大学、高等専門学校及び専修学校を含めた全体では、1.9ポイント増の81.9%となっており、また、厚生労働省の調査結果によれば、高校生の就職内定率(平成25年1月末現在)については1.9ポイント増の88.3%と、いずれも前年同期を上回ったものの、新規学校卒業予定者の就職環境は依然として厳しい状況となっています。

こうした状況を受け、現在、文部科学省では、厚生労働省及び経済産業省と連携し、一人でも多くの学生・生徒が就職できるよう「未内定就活生への集中支援2013」(別紙2)を実施しています。各学校におかれましては、当該集中支援策を活用するなど、引き続き、新規学校卒業予定者への就職支援に御尽力をお願いします。

また、就職の内定を得ずに学校を卒業した者等に対しても、関係省庁が連携し「未就職卒業生への集中支援2013」(別紙1)を実施することとしていますので、各学校におかれましては、当該支援策も活用し、新卒応援ハローワーク等との連携を密にしながら、可能な限り、就職情報の提供や就職相談等の支援を行うなど、きめ細やかな対応をお願いいたします。

各都道府県・指定都市教育委員会高等学校等主管課におかれては管内の公立高等学校等に対して、各都道府県私立学校主管課におかれては所轄する私立高等学校等に対して、各都道府県及び各都道府県教育委員会、厚生労働省の専修学校主管課におかれては所管の専修学校に対して、専修学校を置く各国立大学法人におかれては所管の専修学校に対して、このことについて周知をお願いします。

<本件担当>

【専修学校】

生涯学習政策局生涯学習推進課
専修学校教育振興室専修学校第一係
TEL 03-5253-4111(内線2939)

【高等学校】

初等中等教育局児童生徒課指導調査係
TEL 03-5253-4111(内線3291)

【大学、短大及び高等専門学校】

高等教育局学生・留学生課厚生係
TEL 03-5253-4111(内線2519)



未就職卒業生への集中支援2013

(別紙1)

- ◇ 厚生労働省、文部科学省及び経済産業省は、1人でも多くの新卒者が卒業までに就職できるよう、1月18日から3月末まで「未内定就活生への集中支援2013」に取り組んでおり、1月から2月末までにジョブサポーターの支援によって、約2万3千人が就職しています。
- ◇ 卒業までに就職が決まらなかった場合であっても1日でも早く就職できるよう、引き続き、6月末までを集中支援期間とし、「未就職卒業生への集中支援2013」に取り組み、卒業後もジョブサポーターによる個別支援を継続し、就職が決まるまで全力で支援を行います。

新卒応援ハローワーク等で卒業後も継続して就職活動を全力で支援します！

新卒応援ハローワーク等においては、卒業後もジョブサポーターによる個別支援を引き続き継続するとともに、1日でも早く就職できるよう、全力で支援を行います。

ジョブサポーターによる個別支援

大学等とジョブサポーターとの情報共有による支援（大学等の協力により把握した未内定者への電話による来所勧奨や求人情報の送付など）を継続するとともに、就職活動についてのアドバイスや希望に沿った求人情報の提供などの個別支援を徹底し、1日でも早い就職を目指します。

新卒応援ハローワークの所在地・連絡先：<http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/01/tp0127-2/dl/5a.pdf>

就職面接会の開催

中小・中堅企業を中心に就職面接会を追加開催、企業との出会いの機会を増やします。
※3月1日～6月末に大学等卒業生向け58回、高校卒業生向け9回を予定（3月15日時点）
若年者のためのワンストップサービスセンター（通称：ジョブカフェ）においても未内定卒業生等向けにカウンセリング等を実施します。

就職面接会の開催スケジュール：<http://job.zakusei.go.jp/service/231030.do?action=initDisp&screenId=231030>
各地のジョブカフェ：http://www.meti.go.jp/colov/jobcafe/jobcafe_all.html

地域の大学等との連携による中小企業とのマッチングの実施

地域の中小企業・小規模事業者が一体となって大学、ハローワーク等と連携し、大学等との顔の見える関係作りから中小企業と学生等とのマッチング、人材育成・定着までを一体的に実施します。

地域中小企業の人材確保・定着支援事業ホームページ：<http://chiiki-jinzai.com/>

※ 上記の支援や新卒応援ハローワークについては、卒業後も利用可能です。

さらに、ニーズに応じて無料の職業訓練やインターンシップも活用し、就職を支援します。

無料の職業訓練等によるスキルアップ

求職者支援制度による職業訓練において設定される未就職卒業生向けの無料の職業訓練や企業に雇用されながら生きた技能・技術を学ぶための雇用型訓練を活用し、スキルアップを支援します。

詳しくは最近のハローワークまでお問い合わせください（<http://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shozaiannual/roudoukyoku/>）。

中小企業・小規模事業者の事業現場でインターンシップを実施

中小企業・小規模事業者の事業現場で働く上で必要な技術・技能・ノウハウを習得する機会を提供するため、中小企業・小規模事業者で実施する職場実習（いわゆるインターンシップ）を支援します。

中小企業庁人材対策事業ホームページ：<http://www.chusho.meti.go.jp/keisi/korou/jinzai.htm>

～未就職のまま卒業された方に対する就職支援を継続して行います～

○ 卒業後も引き続き、新卒応援ハローワーク、ジョブサポーター等による支援を継続し、1日でも早い就職を目指します。

【未内定のまま卒業された方のうち、新卒応援ハローワーク、ジョブサポーター等の支援による就職の実績】

平成24年4月～6月：24, 663人
平成23年4月～6月：19, 815人

～ジョブサポーター等の支援による未内定卒業生の就職事例～

事例1

在学中に6社に応募し、最終選考までは残るものの内定を得られなかったAさん。既卒者を対象とした求人があることを知らなかったため、留年して新卒求人に再チャレンジすることを検討していたが、ジョブサポーターから既卒者でも応募できる求人があること、卒業後もハローワークで就職支援を受けることが出来る旨の説明を受け、卒業したうえで就職活動続けることとした。ジョブサポーターによる面接指導等を受け、新卒応援ハローワークが紹介した人に応募したところ、希望職種（放送業界）に就職することができた。

事例2

スポーツインストラクターを希望していたBさん。求人が少ない職種のため就職出来ないまま卒業することとなった。Bさんの個別支援を担当するジョブサポーターが、過去、ハローワークに提出された求人から希望職種の求人を提出したところのある事業所を探し出し、個別求人開拓を実施したところ、大卒等求人を提出してもらえたこととなった。Bさんが不安に感じていた履歴書の作成指導を重点的に行う等の対策を講じたうえで、求人に応募した結果、書類選考を突破。面接を経て就職に至った。

事例3

地元（実家）から離れた地域の大学に進学し、当該地域での就職を目指してしていたCさん。未内定のまま卒業し、地元に戻って就職活動を継続することとなった。地元の新卒応援ハローワークのジョブサポーターがそれまでの就職活動の状況を聞き取ったところ、学生時代を過ごした地域での就職に固執し、応募する求人（企業）に一貫性がないことが判明。相談の中で本来の希望職種、希望就業地等を再認識させたうえで他地域への人事異動もある地元企業の求人を紹介したところ採用されることとなった。

事例4

大学在学中は公務員を目指していたDさん。試験に合格することができず、卒業後、民間企業への就職に変更し、ハローワークに来所。Dさんは非常に真面目で実直な性格であったが、限られた時間で自分をPRすることが苦手であり、書類選考に通過するものの最終面接が突破できない状態が続いた。ジョブサポーターが業中小企業を訪問した際に「新しい人材を採用したいが、なかなか大学生の応募がない」という事業主の話聞き、Dさんの人柄や長所を説明したうえで、面接してくれるよう依頼。実施された採用面接においては、Dさんの話をじっくり聞く時間が設けられ、結果として営業職として採用となった。



新卒者の就職環境が依然として厳しいことを踏まえ、文部科学省、厚生労働省及び経済産業省は、未内定の学生・生徒が1人でも多く卒業までに就職できるよう、平成25年1月18日から3月末までを集中支援期間とし、「未内定就活生への集中支援2013」を実施しています。

関係各省の連携による主な取組

未内定の学生・生徒に「就職をあきらめさせない」ためのジョブサポーターと大学の就職相談員等との連携による個別支援の徹底（文科・厚労*）

【実績（平成25年1月～2月末・速報値）】

相談件数：のべ120,273件、就職件数：23,049件

中堅・中小企業中心の就職面接会の開催（厚労*・経産）

未内定の学生・生徒のために、中堅・中小企業を中心とした就職面接会を開催。

【実績（平成25年1月～2月末・速報値）】

大学生向け：107回 / 高校生向け：93回

（開催例）

「第4回新規大卒者等合同就職面接会」

開催日：平成25年2月12日（火）、主催：東京新卒応援ハローワーク（東京都との共催）

参加企業数：190社、求人数：2,232人、参加学生数：1,052人

地域の大学等との連携による中小企業と大学生等とのマッチング等の実施（地域中小企業の人材確保・定着支援事業）（経産*・文科・厚労）

地域の中小企業・小規模事業者が一体となって大学、ハローワーク等と連携し、大学等との顔の見える関係作りから中小企業と大学生等とのマッチング、人材育成・定着までを一体的に実施。

【実績（平成25年1月～2月末・速報値）】

未内定就活生を対象とした合同就職説明会の開催：25回（約7,600人の学生・既卒者が参加）

保護者を通じた未内定の学生・生徒への就職支援の周知（文科・厚労*）

未内定の学生・生徒の保護者への啓発文書の送付による就職の現状に対する理解の促進、新卒応援ハローワークや最寄りのハローワークでの就職支援について周知の実施。

【実績（1月～2月末・速報値）】啓発文書の発出：43,162通

臨床心理士による未内定の学生・生徒等の心理的ケアの実施（厚労）

就職活動の長期化等により心理的ケアが必要な未内定の学生・生徒等に対する新卒応援ハローワークに配置した臨床心理士による心理的ケアの実施。

【実績（1月～2月末・速報値）】相談件数：のべ952件

民間就職情報サイトによるジョブサポーター・新卒応援ハローワーク等の周知（厚労）

主要な民間就職情報サイトに対し、ジョブサポーターにや新卒応援ハローワーク等の支援の周知のためのバナー掲載について協力を要請し、協力を得て、未内定の学生への周知を徹底。

（平成25年3月15日現在、協力いただいている就職情報サイト（運営会社名五十音順））

- 「就活ラボ2013」：<https://www.ac-lab.jp/2013/>（運営）株式会社アクセスヒューマネクスト
- 「[en]学生の就職情報2013」：<http://en-japan2013.com/>（運営）エン・ジャパン株式会社
- 「学情ナビ2013」：<http://www.gakujo.ne.jp/2013/>（運営）株式会社学情
- 「Re就活」：<http://re-katsu.jp/>（運営）株式会社学情
- 「就職ウォーカーNet2013」：<http://2013.s-walker.net/>（運営）株式会社ジェイ・プロード
- 「就職ウォーカーNet2014」：<http://2014.s-walker.net/>（運営）株式会社ジェイ・プロード
- 「就活ナビ2013」：<https://navi13.shukatsu.jp/13/>（運営）株式会社ダイヤモンド・ビックアンドリード
- 「日経就職ナビ2013」：<https://job.nikkei.co.jp/2013/top/>（運営）株式会社日経HR、株式会社ディスコ
- 「ブンナビ！2013」：<http://bunnabi.jp/2013/index.php>（運営）株式会社文化放送キャリアパートナーズ
- 「マイナビ2013」：<http://job13.mynavi.jp/2013/>（運営）株式会社マイナビ
- 「リクナビ2013」：<http://job.rikunabi.com/2013/>（運営）株式会社リクルートキャリア

政府広報によるジョブサポーター・新卒応援ハローワークの周知（厚労）

政府広報を活用し、平成25年1月から各種新聞・雑誌への広告掲載及びホームページ検索サイトへの運動広告の掲載、ラジオ番組内でのインフォメーションのほか、政府広報オンラインに特設ページを開設する等、ジョブサポーターによる支援や新卒応援ハローワークについて未内定の学生やその保護者等への周知を徹底。

※ 複数の省が連携して実施している支援メニューについての問い合わせ先は*印の省へお願いします。